

英語の接尾辞“-tic”の訳語「～的」について

— 『中央公論』1962年11月号の場合 —

丸山 千歌

キーワード：「～的」、1962年、専門分野、語種、表記、使用度数

〔要旨〕現在の用法での「～的」という語は英語からの影響を受け明治十年ごろから使われ始めたようである。ここ100年のうちに急速に使用が広まった「～的」を調べることは現代日本語の特質を把握することに通じるものと思われる。本稿は、一世代前の1962年の雑誌から抽出された「～的」を、「～的」と話題との関係、「～的」の語種や表記との関係、語の意味との関係などの観点から分析しその使用状況を明らかにする。

1 はじめに

「一般的」「技術的」「アメリカ的」「逆ピラミッド的」…1冊の雑誌の中から「～的」という語を抽出して見ると、私たちは「～的」という語をいかに多く使用しているかがわかる。1987年の国立国語研究所（1987：64）の調査からは、「的」は接尾辞として最も使用頻度の高いことが報告されており、いかに「～的」の使用されているかが数字としても明らかになっている。

現在、「～的」の用法は橋本文法の立場で見ると、「比較的」を除きすべて形容動詞となるが、後述のように、明治十年頃まではこのような使い方はされていなかったようである。現在の用法で使用されるようになったのは明治十年代で、そのきっかけは英語からの影響のようである（磯辺、1906：10）。つまり、「～的」は中国語、英語の影響を受けて成立し、その用法が変わり、ここ100年のうちに急速にその使用が広まった変化に富んだ語なのである。

このように様々な変遷をとげて、現代語として多用されるにいたったこの「～的」という語の使用を調べることは、現代日本語の特質を捉えることにつながると思われる。こういった視点のもとに、本稿では「～的」という語をとりあげ、現代日本語の言語使用の変化を通時的視点からとらえることを試みる。「～的」の使用状況を把握するためには、1) 「～的」の発生期の状況、2) 「～的」が普及する要因となっている性質、3) 現在の「～的」の使用実態の3つの視点がある。

「～的」の発生期の状況については、「発生期における的ということば」（山田、1961）が明らかにしている。これによると、明治十年前後に使用されていた「的」は現在とは全く質が異なり、中国の俗文で使用される用法であったり、人名の一部を取って「的」をつけたりしたものであり、現代の用法の「的」は明治十年代に西周、中村正直などの学者層

によって論文や学術的な翻訳書の中で使用され始めた（山田、1961：56-61）。

また、「～的」が現代語において多用されるようになった要因については、「的ということば」（藤居、1957）や「発生期における的ということば」（山田、1961）が言及している。山田（1961：61）は、日本語の本質的な面では「日本語に本来の形容詞が乏しいという事情が底流にある」と述べ、機能面からは「的」が「接尾的要素としての漢語の生産力が大きい」と述べている。また、藤居（1957：72）は、「的」はその多義あいまいさが多用の要因であると述べている。

現在の「～的」の使用実態については、前述の国立国語研究所の調査（国研、1987）が報告している。また、現在の使用状況については南雲（1994）が、「～的」と話題との関係、「～的」の語種や表記との関係、語の意味との関係などについて以下の点を明らかにした。

- a) 「～的」の使用頻度は話題によって異なり、政治経済などでは頻繁に使用されるのに対し、文芸、広告などではあまり使用されない。
- b) 「～的」の前につく語の語種については、全体的に漢語の使用が圧倒的に多く、使用される語種の多様性は話題との関係が認められる。
- c) 「～的」の前につく語の表記については、漢字の使用が最も多く、漢語はすべて漢字で、和語は漢字か「ひらがな＋漢字」で、外来語はカタカナで表される。
- d) 専門分野によって、特定の語が繰り返し使用される傾向がある。

しかし、言語使用の変化を通時的視点からとらえるためには、前の年代にさかのぼり、それをまず共時的に見ていく必要がある。

そこで、本稿では一世代さかのぼり1992年より30年前（1962）の1冊の雑誌から「～的」という語を全抽出し、これを掲載記事の専門分野、語種、表記、接尾辞「的」の意味の観点から考察し、約30年前の「～的」の共時的な視点から使用状況を明らかにする。

2 調査の対象

本稿で調査対象としたのは『中央公論』の1962年11月号である。その理由は現代の「～的」の使用状況を明らかにした南雲（1994）の調査対象が『中央公論』であり、同じ雑誌をさかのぼっていくことが適当であると思われたからである。

3 「～的」の使用と専門分野の関係

雑誌『中央公論』の掲載記事をこの雑誌の編集方針を基準に整理したところ、1962年11月号1冊には、政治・経済・文化一般・社会・教育・歴史伝記・文芸活動・科学・広告の9分野があった。各専門分野に属する掲載記事のタイトルは以下の通りである。

- A 政治 春夏秋冬（政治）
戦後教育と池田構想
日中関係の新段階
日本の平和運動と世界
世界政治の内幕
- B 経済 春夏秋冬（経済）
産業社会の要請する人間
ネ・ス・パ（生活費は下らぬか）
私鉄は儲かりすぎている
人と企業－近代化をいそぐ老舗・日本楽器
- C 文化一般 春夏秋冬（社会）
近代化における西洋派と土着派
東北にひそむもの うちの三代目
東北文化論
中央公論新人賞選考座談会
ここに光を－四重苦の娘とともに
海外論潮－『フォーリン・アフェアーズ』創刊40周年記念特集号
我楽多紳士
随筆
- D 社会問題 今月の言葉
春夏秋冬（社会）
読者論壇
- E 教育 春夏秋冬（教育）
悩みなき「人づくり」論
技術革新下の教育
- F 歴史伝記 議会政治の開幕
日本軍隊の創設と発展
- G 文芸 西遊記
岡本一平伝
日本敵打ち異相一万屋九兵衛の母
影絵女人
秀吉と利休
北の詩人
カナダ館1941年

鉛の壁

H 科学 春夏秋冬（科学）

I 広告（目次を含む）

上のような専門分野に分類された記事が占める頁数を調べ、1冊のなかでの各分野が占める割合を調べた結果は表1の通りである。文芸がもっとも多く紙面を占めており、次いで文化一般、政治、経済の順である。広告も全体の約10%を占めている。この号では「人づくりとは何か」という特集が組まれていたせいか、教育に関する記事も約6%ある。

表1 各専門分野のページ数とその割合

専門分野 ページ数	政治	経済	文化 一般	社会 問題	教育	歴史 伝記	文芸	科学	広告	計
ページ数	56	46	73	7	21	24	142	2	44	415
ページ数(%)	13.5	11.1	17.6	1.7	5.0	5.8	34.2	0.5	10.6	100.0

次に、専門分野別に「～的」の使用実態を見ていく。まず、各分野で使用された「～的」を50音順に並べると表2のようになる。

表2 「～的」の分野別五十音順語彙表 (数字は延べ語数)

A 政治		最 終 的	1	超 歴 史 的	1
「運命」的	1	思 想 的	2	長 期 的	1
「教育勅語」的	1	指 導 的	1	徹 底 的	1
アメリカ的	2	試 験 的	1	伝 統 的	1
インド的	1	時 間 的	3	統 一 的	1
せん滅的	1	自 主 的	1	道 義 的	1
庄 倒 的	1	自 発 的	1	日 本 的	2
一 般 的	2	実 際 的	1	粘 液 質 的	1
一 方 的	1	社 会 的	4	破 壊 的	2
一 面 的	2	主 観 的	1	悲 観 的	1
科 学 的	1	儒 教 的	1	比 較 的	1
画 一 的	1	周 期 的	1	非 科 学 的	2
階 級 的	1	集 団 的	1	非民主主義的	1
官 僚 的	1	消 極 的	1	部 分 的	1
基 本 的	2	心 理 的	1	物 理 的	1
客 観 的	3	進 步 的	3	物 理 的	1
逆ピラミッド的	1	人 類 的	11	文 化 的	1
教 育 的	2	人 類 的	1	平 和 的	8
近 視 眼 的	1	世 界 的	5	法 律 的	1
近 代 的	1	政 治 的	10	本 質 的	4
具 体 的	3	積 極 的	5	民 主 的	2
軍 事 的	6	絶 对 的	3	民 族 的	3
経 済 的	5	絶 对 平 和 的	1	無 批 判 的	1
警 戒 的	1	戦 闘 的	1	友 好 的	2
決 定 的	3	全 般 的	5	理 論 的	1
結 論 的	1	大 々 的	1	良 心 的	1
建 設 的	1	第 一 義 的	1	例 外 的	1
現 実 的	2	大 衆 的	1	歴 史 的	6
個 人 的	1	端 的	1	論 理 的	1
効 果 的	4	地 域 的	1		
行 動 的	1	地 理 的	1	延 べ 語 数	188
国 際 的	6	中 立 的	1	異 な り 語 数	94
根 本 的	3	抽 象 的	1		

B 經濟		宿 命 的	1	理 論 的	1
コスモポリタンの	1	消 極 的	1	歴 史 的	3
パイオニア的	1	常 識 的	1		
圧 倒 的	1	人 的	25	延 べ 語 数	126
意 識 的	1	世 界 的	3	異 なり 語 数	67
一 般 的	4	政 治 的	1		
加 速 度 的	1	精 神 的	1	C 文化一般	
家 族 主 義 的	1	西 洋 的	1	アミニズム的	1
画 期 的	1	積 極 的	1	シャーマンの	1
楽 観 的	1	絶 对 的	1	悪 魔 的	1
官 僚 的	1	全 国 的	1	圧 倒 的	1
基 本 的	8	全 人 類 的	1	一 般 的	2
客 観 的	1	全 面 的	1	印 象 的	4
驚 異 的	1	相 对 的	1	引 雑 用 的	1
具 体 的	7	綜 合 的	1	運 命 的	1
經 営 的	1	弾 力 的	1	音 楽 的	1
經 験 主 義 的	2	地 方 的	1	画 期 的	1
經 済 学 的	2	地 理 的	2	官 僚 的	1
經 済 的	3	致 命 的	1	感 情 的	3
計 画 的	4	長 期 的	1	観 光 的	1
原 理 論 的	1	直 接 的	1	観 念 的	1
現 在 的	1	哲 学 的	1	機 械 的	2
現 実 的	1	東 洋 的	3	技 術 的	1
効 果 的	1	内 容 的	1	教 義 的	1
国 家 的	1	能 力 主 義 的	1	近 代 的	6
根 本 的	3	批 判 的	1	具 体 的	1
最 終 的	1	比 較 的	1	經 済 的	6
最 事 務 的	1	普 遍 的	1	芸 術 的	1
自 主 的	1	部 分 的	1	決 定 的	2
自 動 的	1	物 理 的	1	原 始 的	4
実 際 的	1	文 化 的	1	原 則 的	1
社 会 的	3	本 質 的	1	幻 想 的	1
社会福祉国家的	11	理 想 主 義 的	2	現 実 的	3

古	典	的	1	人	間	的	1	保	守	的	1	
効	果	的	1	人	工	的	1	本	質	的	1	
功	利	的	1	世	界	的	1	本	能	的	1	
好	意	的	1	政	治	的	2	本	來	的	1	
恒	常	的	1	正	統	的	1	密	教	的	1	
合	理	的	1	生	活	的	1	民	衆	的	1	
国	家	的	1	精	神	的	5	無	目 的	的	1	
国	際	的	2	積	極	的	3	野	性	的	1	
国	民	的	3	絕	望	的	1	擁	護	的	1	
根	本	的	3	先	天	的	1	理	性	的	1	
財	政	經	營	的	全	面	的	理	理	想	的	1
財		的	1	造	形	的	2	理	論	的	1	
散	文	的	1	情	性	的	1	量		的	1	
思	想	的	1	第 一	義	的	1	歷	史	的	1	
指	導	的	1	大	衆	的	1	露	出 症	的	1	
支	配	的	1	致	命	的	2	一	元	的	1	
死	活	的	1	超	国 家	的	2	加	速 度	的	1	
实	用	的	2	超	自 然	的	1	科 学	· 技 術	的	3	
手	法	的	1	超	人 間	的	1	外		的	4	
呪	術	的	2	伝	統	的	2	外	発	的	1	
受	動	的	1	道	徳	的	1	基	本	的	4	
宗	教	的	1	肉	体	的	2	客	觀	的	2	
初	步	的	1	年	次	的	1	究	極	的	1	
庶	民	的	1	発	展	的	1	根	な し 草	的	1	
小	市 民	的	1	悲	劇	的	1	散	発	的	1	
将	来	的	1	部	分	的	1	持	続	的	1	
象	徴	的	1	仏	教	的	1	自	覚	的	1	
情	緒	的	1	物	質	的	1	社	会	的	4	
情	熱	的	2	噴	出	的	1	主	体	的	3	
心	理	的	1	文	化	的	4	主	体 導	的	2	
神		的	1	平	均	的	2	侵	略	的	1	
神	秘	的	3	便	宜	的	1	人	類	的	1	
人	格	的	1	弁	証 法	的	1	先	驅	的	1	

前近代的	1	教科書的	1	空想的	1
全人類的	1	具體的	1	經濟學的	1
創造的	2	國際的	2	經濟的	4
總體的	1	殺人的	1	現狀適応的	1
多元的	1	社會的	1	恒久的	1
對外的	1	庶民的	1	合理的	1
斷片的	1	人間的	1	國民的	2
中世的	1	政治的	4	根源的	1
中立的	1	本質的	1	根本的	1
抽象的	3			產業的	1
超越的	1	延べ語数	15	史的	1
帝國主義的	1	異なり語数	11	思考的	3
土着的	1			思想的	1
統一的	1	E 教育		支配的	3
獨立的	1	パイオニア的	1	資本主義的	1
內的	9	モダン・タイムズの	1	自発的	2
內発的	2	一般的	3	質的	1
熱狂的	1	一方的	1	社會的	5
悲觀的	1	科學技術的	1	職業的	1
普遍的	11	科學的	3	神秘的	1
分析的	1	畫期的	1	進歩的	1
文學的	1	懷疑的	1	人間的	3
文明論的	1	階層的	3	人的	5
包括的	1	學問的	2	推測的	1
民族的	1	樂天的	1	世界的	1
歷史哲學的	1	感覺的	3	世襲的	1
		感情的	1	生產的	1
		基本的	4	精神的	4
延べ語数	239	機械的	1	全面	1
異なり語数	151	技術的	2	組織的	1
		教育的	4	創造的	1
D 社会問題		近代的	3	體系的	2
ダークホース的	1	具體的	3	代表的	2
外的	1				

端	的	1	理	論	的	1	特	權	的	1	
知	的	10					独	善	的	1	
中	心	的	延	べ	語	数	150	内	乱	的	1
抽	象	的	異	なり	語	数	85	反	動	的	1
直	接	的						比	較	的	1
敵	对	的	F 歴史伝記					必	然	的	1
徹	底	的	運	命	的	1		封	鎖	的	1
典	型	的	科	学	的	1		物	質	的	2
伝	統	的	画	期	的	1		物		的	1
田	園	的	危	機	的	1		本	質	的	1
動	物	的	具	体	的	2		民	衆	的	1
特	徵	的	軍	事	的	1		理	論	的	1
独	善	的	形	式	的	1		立	憲	的	1
内		的	経	済	的	1					
肉	体	的	効	果	的	1	延	べ	語	数	49
発	明	的	高	圧	的	1	異	なり	個	数	40
批	判	的	国	辱	的	1					
比	較	的	国	粹	的	1	G 文芸				
非	教	育	国	民	的	1	印	象	的	1	
非	生	産	今	日	的	1	運	命	的	1	
必	然	的	最	終	的	2	永	久	的	1	
不	道	徳	自	発	的	1	画	期	的	1	
普	遍	的	実	質	的	2	懐	疑	的	1	
分	析	的	人		的	2	滑	稽	的	1	
文	化	的	政	治	的	3	基	本	的	1	
保	守	的	積	極	的	1	機	械	的	1	
本	格	的	全	面	的	3	偽	装	的	1	
本	来	的	早	発	的	1	具	体	的	1	
民	主	的	多	元	的	1	健	康	的	1	
民	族	的	对	照	的	1	合	法	的	1	
無	批	判	地	理	的	1	思	想	的	1	
理	論	的	中	立	的	1	時	間	的	1	
歴	史	的	典	型	的	1	神	秘	的	2	

世間話的	1	廣告	1
生理的	1	意欲的	1
積極的	2	科學的	3
絶對的	1	画期的	1
先天的	2	記錄的	1
戰略的	1	客觀的	1
大局的	1	系譜的	1
端	的	現代的	1
天才的	1	國際的	1
反抗的	1	根本的	1
非愛國的	1	史的	1
非合法的	1	自伝的	2
必然的	2	実感の	1
病的	1	世界の	1
封建的	1	正統的	2
民主主義的	1	積極的	2
民主的	2	綜合的	1
		体験的	1
延べ語数	37	代表的	2
異なり語数	32	動的	1
		標準的	2
H 科学		弁証法的	1
自発的	1	本格的	3
全国的	1	理想的	1
全面的	1	歴史的	1
統計的	1		
		延べ語数	33
延べ語数	4	異なり語数	24
異なり語数	4		

表2のように『中央公論』1962年11月号に現れた「～的」を、専門分野と語数、ページ数の関係から見ると表3のようになる。

表3 各専門分野と「～的」の語数の関係 (少数点第二位以下四捨五入)

語数	専門分野										
	政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計	
延べ語数	188	126	239	15	150	49	37	4	33	841	
異なり語数	94	67	151	11	85	40	32	4	24	320	
ページ数	56	46	73	7	21	24	142	2	44	415	
延べ語数／ページ数	3.4	2.7	3.3	2.1	7.1	2.0	0.2	2.0	0.8	2.0	
異なり語数／ページ数	1.7	1.5	2.2	1.6	4.0	1.7	0.2	2.0	0.5	0.8	

『中央公論』1962年11月号は415ページあり、ここに表れた「～的」という語は延べ語数で841語、異なり語数で320語である。まず延べ語数について見ると、「～的」という語は1ページあたり2.0語出てくる。専門分野では、教育が1ページあたり7.1語ともっとも頻度が高い。第二位は政治の3.4語、三位は文化一般の3.3語であるが、両者とも頻度は一位の教育の約半分である。次いで、経済の2.7語、社会問題の2.1語、歴史伝記、科学の2.0語であった。広告と文芸はそれぞれ0.8語と0.2語で使用頻度が少ない。

また、異なり語数で見ると、全体の平均は1ページあたり0.8語であった。専門分野では、第一位が教育で4.0語、次いで文化一般が2.2語、科学が2.0語、政治と歴史伝記が1.7語、社会問題が1.6語、経済が1.5語であった。広告は0.5語、文芸は0.2語と少ない。

延べ語数と異なり語数の関係で見ると、政治、教育、経済の延べ語数は異なり語数の約2倍と、同じ語が繰り返し使用されていることがうかがわれる一方、文芸、科学、広告は延べ語数と異なり語数がほぼ同数で、あまり同じ語が繰り返されていないことがわかる。

4 「的」の前に入る語の種類と表記

そこで、「的」の前に入る語と専門分野との間にどのような関係があるかを語種と表記の面から考える。

1) 語種

まず、「的」の前に入る語の語種を分類すると表4のようになる。

表4 「的」の前にくる語の語種 (表内の数字は異なり語数)

語数	専門分野	政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計
和語		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
漢語		91	65	148	10	83	40	31	4	24	309
外来語		2	2	2	1	2	0	0	0	0	8
漢語 + 和語		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
漢語 + 外来語		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		94	67	151	11	85	40	32	4	24	320

これを百分率で示すと表5の通りになる。

表5 「的」の前にくる語の語種 (表内の数字は%、少数点第二位以下四捨五入)

語数	専門分野	政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計
和語		0	0	0.6	0	0	0	0	0	0	0.3
漢語		96.8	97.0	98.1	90.9	97.6	100.0	98.9	100.0	100.0	96.6
外来語		2.1	3.0	1.3	0.9	2.4	0	0	0	0	2.5
漢語 + 和語		0	0	0	0	0	0	1.1	0	0	0.3
漢語 + 外来語		1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

「的」の前にくる語は漢語が全体の96.6%で、「～的」のほとんどは漢語+的であることがわかる。それ以外では外来語が2.5%、和語、漢語+外来語がそれぞれ0.3%であった。わずかではあるが、和語よりも外来語のほうが「的」につきやすいことがわかる。

具体的には、和語は「根なし草」の1語のみで、外来語には「アミニズム」「アメリカ」「インド」「コスモポリタン」「シャーマン」「ダークホース」「パイオニア」「モダン・タイムズ」の8語、漢語+外来語は「逆ピラミッド」の1語である。

和語は、「和語+漢語」の組み合わせの例は見られない。また、外来語の場合も、「漢語+外来語」の例はあるが、「外来語+漢語」の例はない。語種別に分野を見ると、

- ・漢語のみを使用……………歴史伝記、科学、広告
- ・漢語、外来語を使用……………経済、社会問題、教育

- ・漢語、外来語、漢語＋外来語を使用……政治
- ・漢語、外来語、和語を使用……………文化一般
- ・漢語、漢語＋和語を使用……………文芸

となる。もっとも多様な語種の「～的」を使用しているのが政治、文化一般というように、専門分野と使用語種の多様さとの関連が見られる。

以上、「的」の前にくる語は圧倒的に漢語が多い。ついで外来語、漢語＋外来語、和語の順である。そこで、漢語以外の語種を使用する分野を見ると、

- ・経済……………外来語　コスモポリタン、パイオニア
- ・社会問題…外来語　ダークホース
- ・教育……………外来語　パイオニア、モダン・タイムズ
- ・文芸……………漢語＋和語　世間話
- ・文化一般…外来語　アミニズム、シャーマン
和語　根なし草
- ・政治……………外来語　アメリカ、インド
漢語＋外来語　逆ピラミッド

となっている。

また、もっとも「的」につきやすい漢語の語構成を見ると、表6のようになる。全体では、2字漢語がもっとも使用されている。中には運命という語に「」をつけ、「運命」的のように運命という語に特別な意味合いをもたせているものがある。次いで、3字漢語、1字漢語、4字漢語、5字漢語、6字漢語の順になっている。

1字漢語は、「外」「財」「史」「質」「神」「人」「端」「知」「動」「内」「病」「物」「量」という語がついている。これらのほとんどは「の」「～からの」「～から見た」と言い替えることができるが、「端的」は「端」1字の場合と語の意味が変わってしまう。「的」がつくときとつかないときとで語の意味が変わる例である。2字漢語は「的」の前にくる漢語のほとんどを占める。

表6 分野別「的」の前にくる漢語の語構成 (表内の数字は異なり語数)

語数	専門分野		政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計
	漢	語										
1	字	漢語	2	1	5	1	6	2	1	0	2	13
2	字	漢語	81	56	125	8	69	38	27	4	21	253
3	字	漢語	5	4	14	1	5	0	2	0	1	27
4	字	漢語	1	3	4	0	3	0	1	0	0	14
5	字	漢語	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6	字	漢語	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計			91	65	148	10	83	40	31	4	24	309

3字漢語の語構成はさらに詳しく見ると表7のようになる。3字漢語はすべて1字漢語と2字漢語の組み合わせで、全体的には「1字漢語+2字漢語」の例が16語、「2字漢語+1字漢語」の例が11語と、「1字漢語+2字漢語」の語数がやや多い。専門分野別に見ても、社会問題と広告、経済以外はこれがあてはまる。

表7 3字漢語の語構成 (表内の数字は異なり語数)

語数	専門分野		政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計
	漢	語										
1字+2字漢語			4	2	9	0	4	0	2	0	0	16
2字+1字漢語			1	2	5	1	1	0	0	0	1	11
合計			5	4	14	1	5	0	2	0	1	27

また、3字漢語の用例は以下のとおりである。

1字漢語+2字漢語…引雑用、小市民、前近代、全人類、第一義、超国家、超自然、超人間、超歴史、非愛国、非科学、非教育、非合法、非生産、不道德、無批判、無目的、

2字漢語+1字漢語…加速度、教科書、近視眼、経済学、原理論、粘液質、文献学、文明論、弁証法、露出症

「1字漢語+2字漢語」の場合、1字漢語はほとんどが接頭辞である。そのうち「非」「不」「無」という打消しを表わすものが半分を占めている。他に、「小」「超」「全」「前」「第」という接頭辞がある。「引雑用」の「引」のみは「…一行は宿泊と食事がギャランティーされた、いわゆる引雑用的な一日二十ドル也の支給を各人に受ける。」(『中央公論』1962

年11月号：274)のように雑用を「引き受ける」という意で動詞として機能している。

「2字漢語+1字漢語」はすべて2字漢語と1字漢語との連続である。

4字漢語は、「教育勅語」、家族主義、科学・技術、科学技術、経験主義、現状適応、財政経営、資本主義、絶対平和、帝国主義、能力主義、民主主義、理想主義、歴史哲学の14語がある。「家族+主義」「科学+技術」のように2字漢語を組み合わせたものである。14語のうち7語は2字漢語の後に「主義」という漢語がついたものである。「教育勅語」のように「」を語の前後につけ語に特別な意味合いを持たせているもの、「科学・技術」のように「・」で2字漢語をつないでいるものも見られる。

5字漢語は「非民主主義」の1語のみで打消しの接頭辞に2字漢語の組み合わせがついたものである。6字漢語は「社会福祉国家」1語のみで2字漢語を3語組み合わせたものである。

表6を百分率で示すと表8のようになる。

表8 分野別「的」の前にくる語の語構成（表内の数字は%、少数点第二位以下四捨五入）

語数	専門分野	政治	経済	文化一般	社会問題	教育	歴史伝記	文芸	科学	広告	計
		1	字漢語	0.6	0.3	1.6	0.3	1.9	0.6	0.3	0.0
2	字漢語	26.2	18.1	40.4	2.5	22.3	12.2	8.4	1.2	6.7	81.8
3	字漢語	1.6	1.2	4.5	0.3	1.6	0.0	0.6	0.0	0.3	8.7
4	字漢語	0.3	0.9	1.2	0.0	0.9	0.0	0.3	0.0	0.0	4.5
5	字漢語	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
6	字漢語	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
合	計	29.4	21.0	47.8	3.2	26.8	12.9	10.0	1.2	7.7	100.0

各語構成を全体的に見ると、最も使用が多いのが2字漢語で81.8%と圧倒的に多いことがわかる。第2位は3字漢語で8.7%、次いで4字漢語が4.5%、1字漢語が4.2%となっている。5字漢語と6字漢語はともに0.4%で、その使用がまれであることがわかる。

専門分野別に見ると、1字漢語を最も使用しているのは教育で1.9%である。第2位は文化で1.6%、第3位は政治、歴史伝記、広告で0.6%である。科学は使用が見られない。

全体で圧倒的に使用されている2字漢語では、第1位が文化で40.4%、第2位が政治で26.2%、第3位が教育で22.3%となっている。次いで経済が18.2%、歴史伝記が12.2%、文芸が8.4%、科学が1.2%、広告が6.7%となっている。

全体での使用の割合が第2位の3字漢語では、第1位が文化で4.5%、第2位が政治、

教育で1.6%、第3位が経済で1.2%、第4位が文芸で0.6%となっている。社会問題と歴史は0.3%、歴史伝記と科学では使用が見られない。

4字漢語では、第1位は文化で1.2%、第2位は経済、教育の0.9%、次いで政治、文芸の0.3%となっている。社会問題、歴史伝記、科学、広告では使用はない。

5字漢語は政治（0.3%）、6字漢語は経済（0.3%）以外には使用は見られない。

このように、漢語の語構成も各分野の特徴を反映している。つまり、「端的」「物的」といった1字漢語は教育の特徴を反映し、科学は使用されないという面でその特徴を反映している。2字漢語はどの分野でもよく使用されているが、特に文化でその多様さが目立つ。「経済学的」「非科学的」といった3字漢語は文化、政治、教育においてその特徴を反映している。また、歴史伝記、科学では使用されていないという面でその特徴が出ている。4字漢語は全体として使用が少ないが、文学、経済、教育で比較的使用が認められる点でその特徴を反映している。5字漢語、6字漢語はほとんどの分野で使用されないが、政治、経済で見られたという点で特徴が出ている。

そこで、語構成から専門分野を見ると次のようになる。

- 2字漢語のみ使用……………科学
- 1字漢語、2字漢語使用……………歴史伝記
- 1字漢語、2字漢語、3字漢語使用……………社会問題、広告
- 1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語使用……………文化一般、教育、文芸
- 1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語、5字漢語使用…政治
- 1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語、6字漢語使用…経済

つまり、科学では2字漢語しか使用されていない。歴史伝記では1字漢語と2字漢語しか使用されない。社会問題、広告では1字漢語、2字漢語と3字漢語が使用される。文化、教育、文芸では4字までの漢語が使用される。政治、経済ではさらに、5字漢語、6字漢語のような漢語まで使用されていることになる。

2) 表記

そこで、以上の語種がどのように表記されて「的」の前にくるのかを見ると、表9のようになる。

表9 「的」の前にくる語の表記（表内の数字は異なり語数）

語種	専門分野 表記	政治	経済	文化 一般	社会 問題	教育	歴史 伝記	文芸	科学	広告	計
		漢語	漢字	91	65	148	10	83	40	31	4
和語	漢字+ひらがな	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
外来語	カタカナ	2	2	2	1	2	0	0	0	0	8
混種語	漢字	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	漢字+カタカナ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		94	67	151	11	85	40	32	4	0	320

語種の視点から見ると、漢語はすべて漢字で表記されている。和語は「根なし草」1語で、漢字とひらがなの組み合わせで表わされている。外来語はすべてカタカナである。混種語は「世間話」と「逆ピラミッド」2語で、漢字、または漢字とカタカナとの組み合わせで表わされている。以上から、

漢語の表記……………すべて漢字

和語の表記……………漢字+ひらがな

外来語の表記……………すべてカタカナ

混種語の表記……………漢字、漢字+カタカナ

であり、語種によって表記が異なっていることがわかる。

また、専門分野別に見ると、すべての分野に共通して漢字による表記のものが圧倒的に多い。政治は、漢字、カタカナ、漢字+カタカナの3種類の表記が、文化一般は漢字、ひらがな+漢字、カタカナの3種類の表記が見られ、もっとも表記が多様である。経済、社会問題、教育には漢字、カタカナの2種類の表記が見られる。歴史伝記、文芸、科学、広告では漢字のみが使用されており、表記が一樣である。つまり、

政治……………漢字、カタカナ、漢字+カタカナ

文化一般……………漢字、漢字+ひらがな、カタカナ

経済、社会問題、教育……………漢字、カタカナ

歴史伝記、文芸、科学、広告……………すべて漢字

となり、専門分野によって表記の多様性が異なっていることがわかる。

5 「～的」の前につく語と専門分野との関係

ここまで、「～的」の分野との関係、「～的」の前につく語を語構成と表記の点から見て、「～的」の使用頻度は専門分野によって異なること、語種では漢語以外は分野によって使

用状況に特色が出ること、表記についても漢字以外は分野によって使用状況に特色が出る
ことがわかった。そこで、各分野を特徴づけている「～的」の語について見ていく。専門
分野別に「～的」の前につく語の使用度数に着目して並べかえると表10のようになる。

表10 「～的」の分野別使用度数順表 (数字は使用度数)

A 政治

- 11… 人的
- 10… 政治的
- 8… 平和的
- 6… 軍事的、国際的、歴史的
- 5… 経済的、世界的、積極的、全般的
- 4… 効果的、社会的、本質的
- 3… 客観的、具体的、決定的、根本的、時間的、進歩的、絶対的、民族的
- 2… アメリカ的、一般的、一面的、基本的、教育的、現実的、思想的、
日本の、破壊的、非科学的、民主的、友好的
- 1… 「運命」的、「教育勅語」的、インド的、せん滅的、圧倒的、一方的、
科学的、画一的、階級的、官僚的、逆ピラミッド的、近視眼的、近代的、
警戒的、結論的、建設的、個人的、行動的、最終的、指導的、試験的、
自主的、自発的、実際の、主観的、儒教的、周期的、集团的、消極的、
心理的、人類的、絶対平和的、戦闘的、大々の、第一義的、大衆的、
端的、地域的、地理的、中立的、抽象的、超歴史的、長期的、徹底的、
伝統的、統一的、道義的、粘液質的、悲観的、比較的、非民主主義的、
部分的、物的、物理的、文化的、法律的、無批判的、理論的、良心的、
例外的、論理的

B 経済

- 25… 人的
- 8… 基本的
- 7… 具体的
- 4… 一般的、計画的
- 3… 経済的、根本的、社会的、世界的、東洋的、歴史的
- 2… 経験主義的、経済学的、地理的、理想主義的
- 1… コスモポリタンの、パイオニア的、圧倒的、意識的、加速度的、家族主義的、
画期的、楽観的、官僚的 客観的、驚異的、経営的、原理論的、現在の、

現實的、效果的、國家的、最終的、事務的、自主的、自動的、實際的、
社会福祉國家的、宿命的、消極的、常識的、政治的、精神的、西洋的、
積極的、絕對的、全國的、全人類的、全面的、相對的、綜合的、彈力的、
地方的、致命的、長期的、直接的、哲學的、內容的、能力主義的、批判的、
比較的、普遍的、部分的、物理的、文化的、本質的、理論的

C 文化一般

11… 普遍的

9… 內的

6… 近代的、經濟的

5… 精神的

4… 印象的、外的、基本的、原始的、社会的、文化的

3… 科学・技術的、感情的、現實的、國民的、根本的、神秘的、主体的、
積極的、全面的、客觀的、人類的、創造的、抽象的、內發的

2… 一般的、機械的、決定的、國際的、實用的、呪術的、情熱的、政治的、
造形的、致命的、超國家的、傳統的、肉體的、平均的

1… アミニズム的、シャーマンの、惡魔的、壓倒的、引雜用的、運命的、音樂的、
畫期的、官僚的、觀光的、觀念的、技術的、教義的、具體的、藝術的、
原則的、幻想的、古典的、效果的、功利的、好意的、恒常的、合理的、
國家的、財政經營的、財的、散文的、思想的、指導的、支配的、死活的、
手法的、受動的、宗教的、初步的、庶民的、小市民的、將來的、象徵的、
情緒的、心理的、神的、人格的、人間的、人工的、世界的、正統的、
生活的、絕望的、先天的、惰性的、第一義的、大眾的、超自然的、超人間的、
道德的、年次的、發展的、悲劇的、部分的、仏教的、物質的、噴出的、
便宜的、弁証法的、保守的、本質的、本能的、本來的、密教的、民衆的、
無目的的、野性的、擁護的、理性的、理想的、理論的、量的、歷史的、
露出症的、一元的、加速度的、外發的、究極的、根なし草的1、散發的、
持續的、自覺的、主導的、侵略的、先驅的、前近代的、全人類的、總體的、
多元的、對外的、斷片的、中世的、中立的、超越的、帝國主義的、土着的、
統一的、獨立的、熱狂的、悲觀的、分析的、文獻學的、文明論的、包括的、
民族的、歷史哲學的

D 社会問題

4… 政治的

2… 國際的

- 1… ダークホース的、外的、教科書の、具体的、殺人的、社会的、庶民的、人間の、本質的

E 教育

10… 知的

- 5… 社会的、人的
4… 基本的、教育的、経済的、精神的
3… 一般的、科学的、階層的、感覺的、近代的、具体的、思考的、支配的、人間の、伝統的、内的、分析的
2… 学問的、技術的、国民的、自発的、体系的、代表的、中心的、抽象的、独善的、批判的、非教育的、文化的
1… パイオニア的、モダン・タイムズの、一方的、科学技術的、画期的、懷疑的、楽天的、感情的、機械的、空想的、経済学的、現状適応的、恒久的、合理的、根源的、根本的、産業的、史的、思想的、資本主義的、質的、職業的、神秘的、進歩的、推測的、世界的、世襲的、生産的、全面的、組織的、創造的、端的、直接的、敵対的、徹底的、典型的、田園的、動物の、特徴的、肉体的、発明的、比較的、非生産的、必然的、不道德的、普遍的、保守的、本格的、本来的、民主的、民族的、無批判的、歴史的、論理的

F 歴史伝記

- 3… 政治的、全面的
2… 具体的、最終的、実質的、人的、物質的
1… 運命的、科学的、画期的、危機的、軍事的、形式的、経済的、効果的、高圧的、国辱的、国粹的、国民的、今日の、自発的、積極的、早発的、多元的、対照的、地理的、中立的、典型的、特権的、独善的、内乱的、反動的、比較的、必然的、封鎖的、物的、本質的、民衆的、理論的、立憲的

G 文芸

- 2… 神秘的、積極的、先天的、必然的、民主的
1… 印象的、運命的、永久的、画期的、懷疑的、滑稽的、基本的、機械的、偽装的、具体的、健康的、合法的、思想的、時間的、世間話的、生理的、絶対的、戰略的、大局的、端的、天才的、反抗的、非愛国的、非合法的、

病的、封建的、民主主義的

H 科学

1… 自発的、全国的、全面的、統計的

I 広告（目次を含む）

3… 画期的、本格的

2… 自伝的、正統的、積極的、代表的、標準的

1… 意欲的、科学的、記録的、客観的、系譜的、現代的、国際的、根本的、
史的、実感的、世界的、総合的、体験的、歴史的、動的、弁証法的、理想的

各分野ごとの「～的」のつく語を使用度数との異なり語数で整理すると表11のようになる。表11は特定の語「～的」が繰り返し使われているかどうかは分野によって異なることを示している。たとえば、各分野の使用度数が1位のものを見てみると経済では「人的」が25回、政治では「人的」という語が11回、文化では「普遍的」が11回、教育では「知的」が10回繰り返し使用されている。一方、社会では「政治的」が4回、歴史伝記では「政治的」「全面的」が3回、広告では「画期的」「本格的」が3回、文芸では「神秘的」「積極的」などが2回繰り返されている。科学ではすべて使用度数が1回である。つまり、政治、経済、文化、教育では特定の語が何回も使用されるのに対し、文芸、科学、広告などでは特定の「～的」が繰り返し使用されないことがわかる。特定の「～的」を繰り返し使用する傾向があるかないかはその専門分野の特質を反映しているようである。

表11 各分野における使用度数順異なり語数

表内の数字は異なり語数、()内の数字は累積異なり語数%

専門分野 使用度数	A政治	B経済	C文化 一般	D社会 問題	E教育	F歴史 伝記	G文芸	H科学	広 告
25		1(1.5)							
11	1(1.1)		1(0.7)						
10	1(2.2)				1(1.2)				
9									
8	1(3.3)	1(3.0)							
7		1(4.5)							
6	3(6.5)		2(2.8)						
5	4(10.8)		1(3.5)		2(3.6)				
4	3(14.0)	2(7.5)	6(7.5)	1(9.6)	4(8.4)				
3	9(23.6)	6(16.5)	10(14.1)		12(22.5)	2(5.0)			2(8.3)
2	12(36.4)	4(25.5)	14(23.4)	1(19.8)	12(36.6)	5(17.5)	5(15.6)		5(29.1)
1	60(100.0)	52(100.0)	116(100.0)	9(100.0)	54(100.0)	33(100.0)	27(100.0)	4(100.0)	17(100.0)
合 計	94(100.0)	67(100.0)	151(100.0)	11(100.0)	85(100.0)	40(100.0)	32(100.0)	4(100.0)	24(100.0)

さらにこの特徴を明らかにするために、各分野の使用度数累積延べ語数を整理すると表12
のようになる。

表12 各分野における使用度数順延べ語数

表内の数字は累積延べ語数、()内の数字は累積延べ語数%

専門分野 使用度数	A政治	B経済	C文化 一般	D社会 問題	E教育	F歴史 伝記	G文芸	H科学	広 告
25		25(19.8)							
11	11(5.9)		11(4.6)						
10	21(11.2)				10(6.6)				
9			20(8.4)						
8	29(15.4)	33(26.2)							
7		40(31.7)							
6	47(25.0)		32(13.4)						
5	67(35.6)		37(15.5)		20(13.3)				
4	79(42.0)	48(38.1)	61(25.5)	4(26.7)	36(24.0)				
3	106(56.4)	66(52.4)	91(38.1)		72(48.0)	6(12.2)			6(18.2)
2	130(56.4)	74(58.7)	119(49.8)		96(64.0)	11(22.4)	10(27.0)		16(48.5)
1	188(100.0)	126(100.0)	239(100.0)	15(100.0)	150(100.0)	49(100.0)	37(100.0)	4(100.0)	33(100.0)
合 計	188(100.0)	126(100.0)	239(100.0)	15(100.0)	150(100.0)	49(100.0)	37(100.0)	4(100.0)	33(100.0)

特定の語の繰り返しをもっとも多かったのは、経済で「人的」という語であった。これは異なり語数では全体の1.5%しか占めていないのに、延べ語数では全体の19.8%を占めている。経済で次に使用度数が多かったのは使用度数8の「基本的」である。経済では「人的」「経済的」の2語で延べ語数の26.2%、つまり「～的」全体の4分の1以上を占めていることになる。この全体の4分の1を目安に各分野の使用度数を見ると、政治は6、経済は8、文化、社会、教育は4、歴史、文芸は2である。

これを異なり語数との関連で見ると、延べ語数の25%を目安に見ると、経済は異なり語数上位3.0%の語で全体の25%を占めていることがわかる。また、政治の上位6.5%をはじめとして、文化、社会、教育も異なり語数上位10%未満の語が全体の約25%を占め、繰り返しが多いことがわかる。一方、歴史、文化、広告は上位15%以上にならないと全体の25%を占めていることにはならず、科学は繰り返しが少ないことがわかる。

また、延べ語数の50%を目安に見ると、経済は異なり語数の上位16.5%で全体の52.4%を占めており、さらに特定の語の繰り返しが多いという特徴が明確になる。政治、文化、

教育、社会は、上位約20%の語、特定の1語というよりも、特定の何語かがよく使用されていることがわかる。歴史、文化、広告では全体の50%に着目すると使用度数が1のものまで含まれることになり、繰り返しが少ないことがわかる。

したがって、上位使用語の使用度数によって各分野を分類すると次のようになる。

1) 延べ語数が多く特定の「～的」を集中して使用する分野

(異なり語数上位約15%でその分野の延べ語数の50.0%以上を占める)

経済… 人的、基本的、具体的、一般的、計画的、経済的、根本的、社会的、世界的、東洋的、歴史的

2) 延べ語数が多く特定の「～的」をやや集中して使用する分野

(異なり語数上位約10%でその分野の延べ語数の25.0%以上を占める)

政治… 人的、政治的、平和的、軍事的、国際的、歴史的

文化… 普遍的、内的、近代的、経済的、精神的、印象的、外的、基本的、原始的、社会的、文化的

教育… 知的、社会的、人的、基本的、教育的、経済的、精神的

3) 延べ語数が少ないが特定の「～的」を集中して使用する分野

(異なり語数上位約10%でその分野の延べ語数の25.0%以上を占める)

社会… 政治的

4) 延べ語数が少ないが特定の「～的」をやや集中して使用する分野

文芸、歴史

5) 延べ語数が少なく特定の「～的」を繰り返し使用しない分野

科学、広告

また、各分野の異なり語数上位約10%で2分野以上に共通して使用されている「～的」は次のように整理される。

4分野に共通… 経済的、人的、積極的

3分野に共通… 具体的、政治的

2分野に共通… 基本的、近代的、国際的、根本的、社会的、神秘的、世界的、全面的、歴史的

以上のような語がより広い分野で使用される「～的」である。

そこで、さらに特徴を明らかにするためにそれぞれの分野の使用語を意味の観点から考察する。

1) 政治分野における「～的」

使用が最も多かったのは「人的」で使用度数は11で、次のように使用されている。

a. 「人的資源」としての技術者、技能者の養成プランはたてているのである。

(『中央公論』1962年11月号：121)

b.まず、人的能力開発の課題を求めながら、人的能力政策の基本方針をまとめている。

(『中央公論』1962年11月号：121)

また、使用度数10と、「人的」と同様に使用が多かったのが「政治的」である。

c.重大な政治的敗北以外のものを意味するものではない。

(『中央公論』1962年11月号：55)

d.ドイツを政治的にも経済的にも一つのものとして扱っていた。

(『中央公論』1962年11月号：87)

この他に使用の多かった語を見ると、「平和的」「軍事的」「国際的」「歴史的」である。「政治」「軍事」「平和」「国際」のいずれも政治に直接関係する語である。また、「世界」「社会」「アメリカ」「インド」「日本」「地域」「地理」というような地域を表わす語や「全般」「一般」「一面」「部分」というような規模を表わす語も特徴的である。

同じ「政治的」でも

e. 政治的な考え方

(『中央公論』1962年11月号：118)

というように、a,b,c,dの「政治上の…」「政治に関わる…」という意味ではなく「意見の調整やかけひきがうまい」という意味で、強いて言えば「政治のための能力が備わった」という意味での使い方も見られる。

2) 経済関係における「～的」

経済では「人的」という語の使用が圧倒的に多く使用度数は25である。

f.人的能力開発も立派に経済問題になる。

(『中央公論』1962年11月号：96)

g.経済成長のための人的能力の問題に限定されていますから…

(『中央公論』1962年11月号：98)

この号では「人づくり」が特集になっており、これからの日本のためにどのような人間が必要かがいろいろな面から議論されている。したがって「人的能力」「人的開発」という語がよく使用されているが、経済ではその使用が他の分野を圧倒している。この他に使用の多かった語は、「基本的」「具体的」「一般的」「計画的」「経済的」「根本的」「社会的」「世界的」「東洋的」「歴史的」がある。「社会」「世界」「東洋」といった語は地域を表わす語である。また、「基本」「根本」などは段階やレベルを示す語である。使用度数の少なかった語の中に地域を示す語では「全国」「西洋」「地方」「東洋」「地理」などが、段階やレベルを示す語としては「圧倒」「最終」「全面」「相対」「普遍」「本質」などがある。それぞれの使用度数は少ないが「家族主義」「経験主義」「理想主義」「能力主義」「哲学」「理論」といった思想に関する語も目立つ。

3) 文化一般における「～的」

文化では「精神」「印象」「感情」「情熱」「好意」「思想」「情緒」「心理」「絶望」などの思考・感情に関する語が多く見られる。また、「国民」「人類」「人格」「人間」「民衆」「全人類」「民族」などの人に関する語も多い。これに対して、経済で見られたような思想に関する語はほとんど見られない。

h.すべてアミニズム的世界に同居してしまうのである。

(『中央公論』1962年11月号：236)

i.それが一種のシャーマンの存在であったことは確かだろう。

(『中央公論』1962年11月号：236)

などは、文化関係の記事ならではの「～的」であろう。

4) 社会問題における「～的」

社会に関する記事で見られた語は異なり語数で11語と少ないので特徴を見つけることは難しい。ひとつあげるとすれば、「庶民」「人間」「殺人」といった人に関係する語といえようか。「政治」「国際」「社会」は他の分野と同様に表れている。

5) 教育における「～的」

「人」「人間」「学問」「教育」「国民」といった人や教育に関する語、そして「精神」「感覚」「懐疑」「感情」「空想」「推測」などの思考・感情に関する語が多い。現代教育関係の話題でよく出てくる「国際」がないのは時代の反映であろうか。

6) 歴史伝記における「～的」

歴史伝記関係の記事では、特にある語が繰り返し使用されるというような傾向は見られない。「政治」「軍事」「経済」「国民」「立憲」「民衆」といった政治に関する語が特徴的である。また、「国粋」「国辱」「内乱」「反動」といった語も見られる。時間に関する語はあまり出てこない。

7) 文芸における「～的」

戦前の朝鮮の革命芸術家を主人公とした「北の詩人」という作品の中に「～的」が多く見られた。小説の内容を反映して「民主」「合法」「思想」「反抗」「非愛国」「非合法」「封建」「民主主義」という語が目立つ。数えて見ると文芸の延べ語数37語中この作品は27語、その27語中8語がこれらの語で占められている。「～的」の使われ方が話題によって異なるという特徴がはっきりと出た。

8) 科学における「～的」

科学で見られた「～的」はわずか4語である。特徴をあげるとすると、感情に関する語はない、ということである。

9) 広告における「～的」

いろいろな広告があるにもかかわらず、広告という分野を象徴するような「～的」が並んでいる。「画期的」「本格的」「正統的」「積極的」「代表的」「意欲的」「記録的」「総合的」「理想的」、すべて何かにアピールするために便利な語である。

以上から、なお細かい意味の分析が必要であるが、「～的」は分野、話題と非常に関係が深いことがわかる。

6 まとめ

本稿では、言語使用の変化を通時的視点からとらえることを目的として、1992年より30年前(1962)の1冊の雑誌から「～的」という語を全抽出し、これを掲載記事の専門分野、語種、表記、接尾辞「的」の意味の観点から考察し、約30年前の「～的」の使用状況について以下のことを明らかにした。

1) 計量的に見ると、政治、経済、文化一般、教育では「～的」が多く使用されているのに対し、社会問題、科学などでは「～的」はあまり使用されていない。つまり、掲載記事の専門分野と「～的」の使用度数には関連が見られる。2) 語種で見ると、「～的」の前につく語は圧倒的に漢語が多い。また、漢語以外の使用をみると掲載記事の専門分野との間に関連が見られる。

3) 表記についても、圧倒的に漢字が多い。漢字以外の使用をみると掲載記事の専門分野との間に関連が見られる。

4) 語別の使用度数で見ると、経済、政治、文化、教育では特定の語が繰り返し使用される傾向があるが、文芸、歴史、科学などでは特定の「～的」は繰り返し使われない。

5) 「～的」の前につく語の意味は、専門分野と関連が見られる。

参考文献

磯辺 弥一郎(1906)「国文における英語の感化」『文章世界』

国立国語研究所(1957)『現代語の語彙調査 総合雑誌の用語 前編』 秀英出版

国立国語研究所(1987)『雑誌用語の変遷』 国立国語研究所

南雲 千歌(1994)「現代日本語の「～的」について—雑誌『中央公論』1992年

11月号の場合—」『ICU日本語教育センター紀要』3 国際基督教大学日本語教育研究センター

- 新村 出（1991）『広辞苑 第四版』岩波書店
日本大辞書刊行会編（1975）『日本国語大辞典』小学館
飛田 良文（1990）「辞書」『日本語百科大事典』大修館書店
藤居 信雄（1957）「的ということば」『言語生活』71号 筑摩書房
藤居 信雄（1961）「的の意味」『言語生活』119号 筑摩書房
山田 巖（1961）「発生期における的ということば」『言語生活』120号 筑摩書房